国土交通省
国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management

河川管理による外来植物の分布拡大抑制に関する調査

1. はじめに

背景

・平成24 年9 月「生物多様性国家戦略2012-2020」
愛知目標の達成に向けたわが国の国別目標を設定しており，外来種対策の具体的な施策のひとつとして，河川における外来種の急速な分布拡大を踏まえた対策の推進，外来植生等に関する調査研究及び効果的な対策の検討を行うとしている。
さらに，愛知目標を踏まえ，防除の優先度の考え方を整理し，計画的な防除等を推進するとともに，各主体における外来種対策に関する行動や地域レベルでの自主的な取組を促すための行動計画を策定することを国別目標の一つとしている。
・平成27 年3 月「外来種被害防止行動計画（環境省，農林水産省，国土交通省）」
愛知目標を踏まえて策定されており，まん延防止のために侵入初期段階の外来種対策を重視している。

外来植物対策においても，今後の侵入の危険性を踏まえて効率的な管理方針の立案を行うことが重要である。そのためには地上の植生状況のみならず，種子供給源及び発芽可能な埋土種子集団である土壌シードバンクにおける外来種の存在を把握することが重要。

本研究の目的

①そこで，本研究では，**外来植物の河川空間における土壌シードバンクの分布特性及び発芽特性を把握**することを目的として，河川敷での植生調査（平成26年度及び28年度）及び採取した土壌サンプルの撒きだし実験（平成27～28年度）を行った。
②さらに，**外来植物防除の現状把握**を行うために，全国の直轄の河川関連事務所を対象に**アンケート調査**を実施（平成27年度）した。
③そして，①及び②の成果等をもとに，現場において活用しやすい**外来植物防除対策解説書（案）を作成**（平成29年度）した。（作成中）